

ウガンダ北部アチョリ地域国内避難民帰還・定住促進のためのコミュニティ再生計画準備調査 および ウガンダ北部アチョリ地域国内避難民帰還・再定住促進のためのコミュニティ再建計画

国名	ウガンダ共和国
発注者	国際協力機構(JICA) 経済基盤開発部、JICS
事業分野	平和構築・農村開発
実施期間	2011年4月から約11ヶ月間 + 2012年7月から約36ヶ月間



事業の背景

ウガンダの北部アチョリ地域は、20年以上紛争状態にありましたが、2006年の和平交渉開始後、治安は回復し、国内避難民(IDP)の帰還も進んで、緊急・人道支援から復興・開発フェーズへの移行期にありました。2007年10月に北部復興開発計画が策定されたものの、同地域への政府予算は不十分で、生活基盤インフラが不足していました。



©The World Factbook

事業の内容

本事業では、帰還先のコミュニティにおいて IDP が安定した生活を送れるよう、4つのセクター(学校、保健、給水、道路)に係るコミュニティ生活基盤整備のための協力準備調査を実施しました。この調査では、紛争予防・平和構築無償事業としての妥当性、最適な計画の内容・規模を検討するための現地調査や情報収集、関係する中央省庁及び地方政府との協議を行いました。さらに計画策定段階では、ウガンダ側からの要請に配慮した上で、緊急性、維持管理の負担、施工及び監理の効率性等を考慮し、支援コンポーネントを以下の4点に決めました。

- ①小学校施設整備 ②保健/医療施設整備・機材調達 ③小学校及び保健所の井戸整備④右施設を含むコミュニティ関連施設等へのアクセス改善(雨季等の通行を可能とするための河川横断施設、道路排水設備の整備)。

現在も、紛争で傷ついたコミュニティの一刻も早い回復に向けて、活動しています。



校舎整備前の授業風景



新校舎